

## トップが語る強みと戦略

### 顧客要望に「ドンピシャ」で対応



**近畿刃物工業社長 阿形 清信氏**

当社は段ボール加工用刃物の専門メーカー。用途に合わせて、材料の切断から熱処理、刃付けまで全工程を社内で一貫生産している。

オーダーメイド品なので、大量生産できる汎用品のモノづくりとは少し異なる。必要とされる仕様を専門加工に特化した技術を駆使して、お客さまに使用していただくことを生業として62年目を突き進んでいる。

保有する技術、知見を生かした30の特許取得は、段ボール加工刃物に特化した特許と証明されている。

今後、自社の強みを生かし、顧客の要望に「ドンピシャ」で対応することを追求していく。

## 金融機関の地域活性化策

### コロナ禍乗り切る変革アイデア発信



**日本政策金融公庫守口支店長 橋本 恒己氏**

新型コロナウイルスの拡大は急増した面がある。一方でインバウンドの大幅減少、サブプライムローンの毀損、自衛隊による停滞の順で、企業の資金繰りや経済活動への悪影響が波及してきている印象がある。業種別によってばらつきがあり、需要が暴落した飲食や宿泊、物販などの分野は特にダメージが大きい。

北河内地域では相対的にそういった業種は少なく、建設・不動産などの比率が大きい。当初は部材が入らず引き渡しができないなどの事態が生じ、一時的な支払いなどで融資申請が殺到した。現在は、年間で1万6000件の受注をこなしている。これまでの製品、加工工程を生かして、受注予測のノウハウを蓄積。必要な材料の確保と効率的な製造の流れを構築し、納期の短縮を図っている。

また、仕事を与えられるのではなく、自分で仕事を肩負うことができる社員を育成することも注力する。より効率的な生産プロセスや付加価値のある刃物製造など会社に貢献できる取り組みにつながるのあればチャンスを与えサポートしていく。

### 変化への挑戦～進化と強化その先の喜び～



**三洋金属工業社長 下大川 丈晴氏**

2020年度のスタートを「変化への挑戦、進化と強化その先の喜び」に定めた。変化の激しい時代において、常に前を見据えて積極的に挑戦し、成果を上げられるようしていきたい。

当社グループ3社のうち三洋金属工業と三晴プラスチックは、5月期決算で過去最高を更新した。2年前にグループ入りした金型製作のマクティはまだ赤字だが、黒字化が見込める段階まで進んでいる。常に目の前にあるリスクを考え、克服するために前に出る。好調の時には顕在化している課題が、状況が悪化するにつれて顕在化してくる。課題が、状況が悪化するにつれて顕在化してくる。課題の解決策を講じて、積極的に動くようにしていきたい。

今回の新型コロナウイルス禍も悪いことばかりではない。主力の自動車部品は全体の数量は減少しているが、国内中心の軽自動車向け部品などは増えているものもある。こうした事態に備えて自動車部品の比率を下げていたことも功を奏した。新型コロナウイルス対策で需要が発生しているものもある。中小学校のパソコン導入が進み保管するロッカーの転倒防止用具の注文が急増している。設計から製造、検査まで一連の工程を受託するOEM（相手先ブランド）生産も増えている。この力を生かして社員の力を高め、自社製品の開発につなげていきたい。

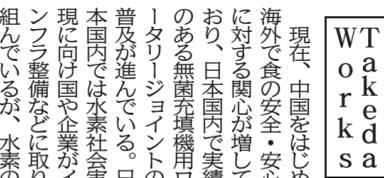
### オーダーメイドの強み前面に



**スリーエフ技研常務取締役 札谷 啓介氏**

お客さまそれぞれの使用条件に合ったオーダーメイドの研磨製品を提供している。鉄鋼メーカー向けの仕様が6、7割を占めているが、中小製造業の現場の悩みを改善できる製品を生み出し、顧客の幅を広げたいと考えている。

新型コロナウイルスの影響は今より大幅にとどまるところ。今後の落ち込みは懸念しているが、逆風の中こそ積極的に会社改革を図っていきたく。営業が聞いてきた顧客ニーズを製品開発に結び付け、当社の製品で解決できるかを探る。新製品開発だけでなく、既存製品の新しい使い方を考えていくという方法もある。従来の発想から脱して改革を進め、顧客に合わせられる最大の強みを広くアピールしたい。



### 有機廃棄物を短時間で飼料に

**W T a k e d a**

現在、中国をはじめ海外で食の安全・安心に対する関心が増しており、日本国内で実績のある無菌充填機用ロータリーシヨイントの普及が進んでいる。日本国内では水素社会実現に向けて国や企業がインフラ整備などに取り組んでいるが、水素の生産や輸送ラインに必要な高圧スチールシヨイントの引き合いが増えている。Takeda Worksの新製品「KILN」は有機廃棄物を短時間で低コスト、省スペースで飼料にできる「KILN」。

生産現場の自動化や効率化が以前にも増して強く求められる中、大洋精機の自動帯束機の需要が拡大している。これまでの印刷物や紙器製品、薬品向けに加え、最近では食品や化粧品関連などで引き合いが増えている。安価な海外製品との価格競争が危惧されるが、高品質と、きめ細かなアフターフォロー

### 有力企業の製品&技術(順不同)



**大洋精機**

生産現場の自動化や効率化が以前にも増して強く求められる中、大洋精機の自動帯束機の需要が拡大している。これまでの印刷物や紙器製品、薬品向けに加え、最近では食品や化粧品関連などで引き合いが増えている。安価な海外製品との価格競争が危惧されるが、高品質と、きめ細かなアフターフォロー

**自動帯束機 需要分野広がる**

「」を強みとする同社への顧客の信頼は厚い。中でも、食品業界向け自動帯束機「WAS 1500-30-PUSH」型は、ライン組み込みタイプで、搬入コンベヤに製品をセットすると、プッシュで帯束機に自動供給する。そのほか、印刷テープ位置決め機能、サーマルプリンターを搭載した「WAS250-75型」、温度表示やカウンターの機能を標準装備した紙テープ専用の「J240-30型」などもラインアップする。

ライン組み込みタイプの自動帯束機「WAS 1500-30-PUSH」型

# きた かわち 大阪北河内産業界

こだわりの技術で夢を運ぶ企業でありたい

san-group

SANグループを成す3社(三洋金属工業、三晴プラスチック、マクティ)にはそれぞれの強みと役割があります。営業部門と総合的な金属加工メーカーとしての役割を持つ三洋金属工業、プラスチック製品やインサート成形品で付加価値の高い製品づくりを担う三晴プラスチック、そして高い技術力で試作品製作などものづくりの重要なスタート地点を担うマクティ。この3社がそれぞれの役割を果たし、機能することでSANグループは高いレベルでの顧客満足を実現しています。

**Sales Promotion**

精密プレス加工  
金型設計製作  
開発設計試作

**三洋金属工業株式会社**  
〒571-0038 大阪府門真市柳田町17番7号  
TEL:06-6906-9100 FAX:06-6906-9300

**Molding Processing**

インサート堅型成型加工  
射出成型加工

**Machine Processing**

試作加工全般  
切削加工  
(金属加工・樹脂加工)

**三晴プラスチック株式会社**  
〒571-0038 大阪府門真市柳田町17番7号  
TEL:06-6780-3400 FAX:06-6780-3401

**株式会社マクティ**  
〒571-0035 大阪府門真市築才町14番20号  
TEL:072-883-0188 FAX:072-883-0183

<http://www.san-kk.co.jp/>

エアプラストの総合メーカー

# ブラスト業界のパイオニア

日本におけるプラスト創成期から多様化するニーズに対応するためオートブラストシステムの開発など、プラスト技術をさらに進化させることを目標に日々研究を行っております。

技術の向上だけでなく、研削材の再利用・粉塵・騒音の防止など環境保全・安全確保も重視、環境適応型のニーズにも積極的に対応しております。

これからも「提案型企業-アツチ」は常にプラストのこれからの見据えその可能性にチャレンジしてまいります。

- エアプラストマシン
- バキュームプラスター
- アスコロボットプラスト
- プラストキャビネット
- パイプ内面研掃機
- ウエットプラスター
- プロプラスター
- 集塵機
- 回収機
- ノズル
- 部品・標準付属品
- 研削材

**STRONG アスコンプラストマシン**  
**ASCON 厚地鉄工株式会社**  
本社・工場 / 〒571-0015 大阪府門真市三ツ島1丁目34-43 TEL(072)882-3814代 FAX(072)883-5814

<http://www.atsuchi-ascon.co.jp>

「世界にひとつ」を届けたい

**RED HORSE**

ワークの傷取り、黒皮取りに!  
納得の高研削力 **GFホイール**

オーダーメイドの独自製品と技術力で国内外へ

研磨材料製造販売 株式会社 **スリーエフ技研**

研磨についてお悩みのことはご相談ください  
〒571-0002 大阪府門真市岸和田1-3-11 TEL.072-881-8400 FAX.072-881-8590

<https://www.tfg.co.jp/>